

令和3年度「しまねっ子！元気アップ・カーニバル」 開催校の紹介

「しまねっ子！元気アップ・カーニバル」は、「しまねっ子！元気アップソング&ダンス」や、柔軟運動、また短縄、長縄やボール等を使った「しまねっ子！元気アップ・プログラム」の15種目の中から好きな数種目を選択して異学年・同学年の友だちと一緒に仲良く楽しんで運動する集会活動です。15種類の運動種目には、島根県の地名にちなんだ名前が付けられています。

以下はこの集会活動を開催した学校の紹介です。友だちと声をかけ合い、助け合いながら記録の向上を目指し、運動することに夢中になって楽しんでいる子どもたちの姿が見られます。

なお、カーニバル開催校には株式会社ローソンの協力により運動用具等が贈られました。

◆第10回◆ 吉賀町立六日市小学校 全校73名 開催日：11月1日（月）

昨年度と同様に、朝活動で継続的に元気アップ・プログラムを参考にした取組（投運動、登り棒、ブリッジなど）を行っており、1学期はマラソンにも毎週取り組みました。今回のみろくマラソンでは、本番に向けて体育の時間だけでなく、休み時間にも希望者を募って体力作りを行いました。当日は晴天の下、校外のコースを使って開催し、一人一人がゴールを目指して粘り強く走ることができました。今後も取組を継続し、コロナの影響で低下気味の体力を取り戻して行ってほしいと思います。



◆第9回◆ 大田市立朝波小学校 全校79名 開催日：10月21日（木）

昨年度に続き、縦割り班で元気アップ・プログラムにチャレンジしました。各種目のポイントを合計した得点で競い合うことで、子どもたちの意欲向上につながりました。また、様々な運動に取り組む中で、仲間を思いやったり、自分の頑張りに気付いたりする子が多くいたようです。

柔軟運動や対面パス、8の字跳びのそれぞれで記録を更新した子どもたちの感想には、「カーニバルは役に立つ」や「柔らかさを維持したい」といったものがあり、今後のさらなる体力向上に向けて期待が膨らみました。



◆第8回◆ 奥出雲町立八川小学校 全校59名 開催日：10月20日（水）

委員会の子どもたちの司会進行により、カーニバルが盛大に行われました。

最初に行った柔軟運動では、先生から記録が伸びるコツを教わった子どもがそれを試し、実際に記録更新すると、縦割り班のみんなで歓喜の声を上げ、喜びを共有していました。短縄跳びでは、二重跳びや10秒間前跳びなどに目標回数を決めて挑戦し、練習の成果を発揮していました。

このカーニバルで知った動きのポイントやコツなどを、普段の生活や体育の授業でも生かしてほしいと思います。



◆第7回◆ 奥出雲町立馬木小学校 全校44名
開催日：10月20日（水）

朝の体幹強化やストレッチ、体育の授業などでの体力向上に向けた取組を各学級で継続的に行ってきています。この日は、全校での活動ということもあり、誰もが無理なくできる運動を取り入れ、みんなで楽しむことができました。ペアで仲良く柔軟運動に取り組む姿や、対面パスでお互いを思いやりながら丁寧にボールを投げる姿、みんなで声をかけ合って長縄とびに取り組む姿など、縦割り班ごとに上の学年の子が下の学年の子を励ましたり、上手にリードしたりする様子がたくさん見られました。



◆第6回◆ 大田市立北三瓶小学校 全校12名
開催日：10月8日（金）

カーニバル最初の種目「松江城！忍者8の字とび」では、みんなで元気よく数を数えたり、「がんばれ！」「いける！」などの応援をしたりすることによって、気持ちを高め、これまでの記録を更新することができました。

このよい流れのまま、その後の柔軟運動やブリッジ、シャトルランといった種目にも楽しみながらよい雰囲気の中で取り組むことができました。元気アップ・カーニバルを何度も経験している子もあり、自分の体力の向上や課題を実感しながら取り組むことができました。



◆第5回◆ 大田市立高山小学校 全校33名
開催日：9月10日（金）

カーニバルを通して、子どもたちが、仲間と仲良く運動したり、チャレンジすることの楽しさを味わったりすることができました。「班のみんなで練習したらどんどん上手になってうれしかった。」という感想からも、まとまった人数で取り組むよさに気付いたことが伝わってきました。

江の川マラソンでは、5月から始めた高山小独自の運動「やる気まんまんタイム（業間マラソン）」の成果が見られました。カーニバルで高まった意欲を、今後のさらなる体力向上につなげていってほしいと思います。



◆第4回◆ 安来市立南小学校 全校67名
開催日：9月7日（火）

1学期から、屋内体育の時間に柔軟運動に継続的に取り組んだり、縦割り班で8の字跳びの練習を行ったりしてきました。

カーニバル当日は、なわとび集会と結びつけて、これまでの活動の成果を披露し合う時間となりました。柔軟運動、個人種目（短縄）、縦割り班種目（長縄8の字とび）のそれぞれで成長の姿が見られ、温かい拍手が贈られました。また、なわとび名人紹介や高学年による技の紹介など、児童の意欲向上を促す工夫もあり、充実した時間になりました。



◆第3回◆ 雲南市立阿用小学校 全校51名
開催日：9月2日（木）

しまねっ子！元気アップ・プログラムをもとに阿用小バージョンを作成し、業間休み等の時間を使い、全校で継続的に取り組んでいます。

当日はあいにくの雨でしたが、体育館に向かう児童の笑顔や元気な挨拶の声からは、運動を楽しみにしている様子が伝わってきました。また、教員と一緒に活動することも児童の意欲向上につながっているように感じました。これからも運動への取り組みせ方を工夫し、楽しみながら体づくりを進めてほしいと思います。



◆第2回◆ 安来市立母里小学校 3, 4年生25名
開催日：7月16日（金）

今年度から元気アップ・カーニバルに参加しました。この運動を始めてまだ2時間目ですが、1時間目と比較してどの種目も記録が大幅に伸びました。連続して続くように意識して取り組む児童が多くなりました。また、失敗してもお互いに励まし合う姿が見られました。

目標に向かって行うことで、達成感を味わったり、「もっとやりたい」と意欲をさらに高めたりすることにつながりました。今後も体づくりの面から、継続して取り組んでいきたいと思っています。



◆第1回◆ 出雲市立国富小学校 4年生29名
開催日：7月15日（木）

元気いっぱいの4年生児童が初めて「出雲ドームブリッジ」や「ドジョウすくい3種目柔軟運動」に挑戦しました。これまでは、ブリッジができる、できないだけで考えていた児童達に、「手と足を近づける」という新しい意識が芽生え、「なかなか記録が縮まらず難しかったけど、楽しかった。」という感想が多くありました。今回の取組をきっかけに、児童に柔軟性をさらに高めようという意識をもたせることができたので、定期的に体育の時間においてブリッジや柔軟運動を取り入れていきたいと思っています。



